

健康の根源は自然との共生

すべての生命は自然の恵みで生きていますが、その一方で、紫外線と皮膚ガンの関連が問題視されています。しかし昨今の論調は最も大切な視点がなおざりにされています。それは紫外線が健康保持に欠かせないビタミンDを生成することであり、人に紫外線から皮膚を守る仕組みがあることです。一例を挙げれば、必要な紫外線は吸収し過剰な紫外線から皮膚を守るために、熱帯に住む黄色人種は夏に日焼けをし、寒帯で暮らす白人は常に日焼けをせず、強い紫外線に曝される熱帯の黒人は生まれた時から日焼け状態です。この自然と共生することをないがしろにして美白にこだわれば、健康を損なって当たり前です。

私は「紫外線が原因の皮膚ガンで亡くなつた人を知つていませんか」と尋ねることがあります

本紙にガーランド博士が地理病理学的に日照に罹る紫外線被爆量の多い地域で乳癌と大腸癌の発症率、死亡率が低下することを報告した研究を既述します。したがって、その後、相次いで卵巣癌、前立腺癌、悪性リンパ腫で同様な研究結果が報告されました。そして本年三月、アメリカの医学雑誌、キャンサー（英語で癌のこと）にウィリアム・グラント博士が紫外線被爆量とガン発症率について詳細な解析を

ですが、人には皮膚ガンを防ぐ光回復と呼ばれる機構があり、日本人は日焼けで過剰な紫外線を防ぎますので極めて稀だからです。ちなみに紫外線による皮膚ガンは寒帯に適応した白人が亜熱帯や熱帯に移り住んだ際の問題であって、黒人は皮膚ガンにまずなりません。

健 康 と 元 気

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03) 3793-5281
3712-5322

ガンの予防と治療

—サナモア光線療法の有用性—

サナモア光線協会

サンモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

癌、子宮癌の八つの癌を加えた十三の癌で、食事や煙草など癌に関わる既知の要因で補正しても、紫外線被爆量と癌罹病率との間には明らかな関係があり、紫外線被爆量が少ない地域では多い地域に比べ死亡率がほぼ二倍に上昇する癌もあると報告しました。

このように十分な紫外線を浴びないと他の多くの癌の発病率

行つた結果を報告しています。
グラント博士は紫外線被爆量
の多いアメリカ南西部諸州と少
ない北東部諸州の
ガン発症率、死亡
率を比較検討し、
前述の五つの癌に、
膀胱癌、食道癌、
腎臓癌、肺癌、膝
藏癌、直腸癌、胃
治療
の有用性一

外口の細胞分化誘導作用

細胞分化とは細胞が形を変えることですが、ガン細胞を含め実にさまざまな細胞にビタミンDが鍵穴があり、これをビタミンD受容体と呼びますが、ガン細胞では細胞の増殖を抑制し、正常細胞への分化を誘導する作用が明らかになりました。

この点からサナモア光線療法を副作用のない治療法として、

法としての効果ばかりでなく、総合的に働くことが認められる。近年、ビタミンDにガングローブ細胞の分化を誘導する作用があることが解明され、その重要性が注目されています。

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮 光明

夏季臨時休業のお知らせ
八月十三日(火)から十五日(木)
の三日間、臨時休業致します
ので、よろしくお願ひ申し上
げます。

カンの治療に併用することによって併用する
の治療法では得難い相乗効果が期待できると考
えられます。なお余談ですが、ビタミンD過剰
症を起こさずに細胞分化誘導作用があるビタミンDの誘導体を抗癌剤として開発する研究が行
われています。

(株) 東京光線療法研究所
サンモア光線治療院

一病 息災

一病 息災

骨粗鬆症

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

本邦の骨粗鬆症患者数は、高齢化社会を反映して、年々増加しており、21世紀初頭には、1000万人以上に達すると考えられており、今後の対応が急務とされています。近年、骨粗鬆症の減少と骨微細構造の破綻をきたす代謝性疾患で、その結果、骨の脆弱性が高まり骨折をきた

病気の解説

しやすくなる状態と定義が確立されています。骨量は、成長に伴い増加し30歳近くで最大となりますが、50歳を過ぎると、徐々に減少します。加齢に伴う骨量の減少には性差が大きく、女性では閉経による女性ホルモンの急激な低下により、約10年にわたり急速に骨量が減少するのに對し、男性では生涯を通じて、骨量が一定の値を下回ると、椎体骨の圧迫骨折や大腿骨頸部骨折などの病的骨折の危険が高まり、

骨粗鬆症予防の最終目的は、骨折の予防にあります。予防的基本は、各個人が有する骨粗鬆症の危険因子を明らかにして、その危険因子を取り除くことに

病気と光線療法

高齢者の長期臥床の主な原因の一つになるのです。したがって、高齢者のQOL（生活の質・Quality of Life）を維持するためにも、骨粗鬆症に対する早期からの適切な対処は必要不可欠です。

症例：60歳、女性。

主訴：右手のしびれ。腰痛。膝関節痛。

起始・経過：約2年前に、右手のしびれを自覚したため、病院を受診した際、頸椎レントゲン検査にて、第4頸椎の圧迫骨折を認め、頸椎症と診断された。以後、症状は安定していたが、最近、腰痛や膝関節痛を認めることがあり、健診で、骨塩量を測定したところ、骨密度は、同年齢の女性の平均値と比較して88%しかなく、加療が必要であると説明を受けたため、治療目的にて来院した。

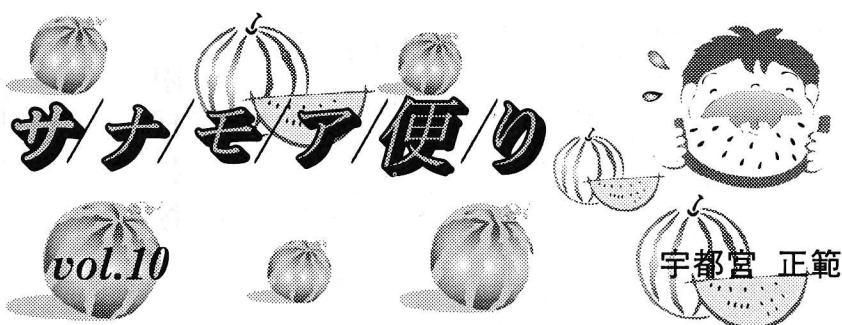
治療：側臥位にて45分、5灯照射。

後頸部（BD）、腰部（BD）、腹部（BD）、膝関節（AB）、足裏（AB）。

経過：在宅での光線治療を、ほぼ毎日続けながら、1か月に1、2回来院し、全身の光線治療を施行した。約2か月経過した頃から、右手のしびれは、明らかに軽減し、6か月後に施行した骨塩量の測定で、骨密度は、ほぼ平均値まで回復していた。

さらに、これに加え、毎日のサナモア光線療法を日課にすることにより、確実に骨粗鬆症の予防効果を期待できます。光線療法は、消化管に作用し食物の吸収効率を増進するだけでなく、皮膚においてホルモン様の作用を發揮するビタミンDを产生しますが、これにより、カルシウムの吸収は助けられ、丈夫な骨が形成されます。高齢者にとって、骨粗鬆症を予防することは、QOLを保つために大事なことですから、是非、光線療法を毎日続けることを推奨します。

**第六期
サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講**
前号でお知らせした第六期サナモア光線治療師養成講座を、過去最多の十名の参加者を迎え、四月に東京において開講しました。



場所..三階会議室
時間..午後二時
会場..サナモア光線治療院

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非ご参加下
さい。なお参加は無料です。
日時..七月十三日(土)

第十回 「光と熱研究会」 の知らせ

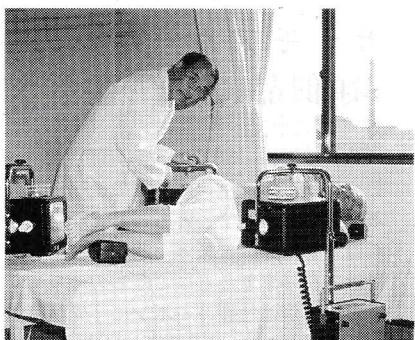
た。今回、治療師認定を受けられた方々をご紹介致します(写真右)。



第六期養成講座出席者

(平成十四年四月二十一日開院)
院長..松田章宏先生
交通..JR木幡駅下車徒歩三分
住所..京都府宇治市木幡大瀬戸九
電話..〇七七四一三三一八五六九

京都サナモア光線治療院(写真下)



松田章宏先生

治療院紹介

このコーナーでは、新規に光線治療院を開業された先生方や、既に開業されてご活躍中の先生方を紹介させて頂いております。

治療師認定者

森川嘉文(福岡県)、太田幸作(大分県)、住田博子(東京都)、寺西青春(兵庫県)、寺西久美子(兵庫県)、小丹枝憲台(千葉県)、山根健一(兵庫県)、徳丸結香(福岡県)、石本路子(北海道)、野津旬子(鹿児島県)

以上(敬称略)

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。については体験記をお送りくださいますよう、お願ひいたします。

一言..光線療法を通じて、多くの方の疾病治療や健康増進に少しでも役立ちた
く、できれば、光線治療院が高齢者のコミュニケーション

ションの場となることを願っています。オープンしたばかりで、まだ患者さんも少ないのでですが、精一杯がんばりたいと思います。

募集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

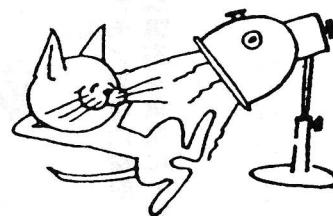
サナモア光線治療院

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

症例 23歳 男性 会社員
症状 友人とテニスをしていた際、硬式のテニスボールが右目に当たり、激しい痛みと腫れを自覚。すぐに眼科を受診したところ、角膜に混濁を認め、外傷性虹彩炎を起こしており、回復後に若干視力障害が残る可能性があると説明を受けた。帰宅後、サナモア愛用者である母親とともに、治療目的にて来院した。

療法経過 最初にBBカーボンを30分照射したが、終了する頃に痛みは軽くなつた。さらに、後頭部を10分照射してから、両

☆眼球打撲



— 治験例報告 —

症例 51歳 女性 主婦
症状 昨年8月、乳房のしこりに気が付いたため、病院を受診。最初の病院では異常なしと言われたが、セカンドオピニオンを求め、二か所、違う病院を受診したところ、乳腺炎という診断と乳癌の疑いという異なる診断を受けた。そして、最終的に診断を確定するには手術が必要

眼を10分照射した後、休憩をはさんで、再度、右眼を10分照射した。翌日からは、在宅治療を開始。右眼を20分、後頭部を10分の照射を一日に二回、他に、腹部と腰部をA-Bカーボンで各10分照射するよう指示した。二目には腫れもひいて、痛みもかなり軽減し、三日後に眼科を受診した際には、角膜の混濁は認めず、外傷性虹彩炎も治っていると言われた。その後も光線療法を続けたところ、三週間経過した頃には、視力も完全に戻り当たり、激しい痛みと腫れを自覚。すぐに眼科を受診したところ、角膜に混濁を認め、外傷性虹彩炎を起こしており、回復後に若干視力障害が残る可能性があると説明を受けた。帰宅後、サナモア愛用者である母親とともに、治療目的にて来院した。

☆乳腺腫瘍

症例 40歳 女性 主婦
症状 数日前、料理をしていた際、揚げ物の油が顔面に飛び跳ね、両側顔面に数か所の熱傷を負った。この際、顔面には点状の紅斑を認めたが、水疱の形成はなく、様子をみていたところ、熱傷の跡に、こげ茶色の色素沈着を認めたため、美容上の問題も含め、治療目的にて来院した。

療法経過 最初にB-Dカーボンを使用し、1号集光器を用いて、左右の顔面を、各々30分ずつ照射。その後、全身の血液循環を

改善し、新陳代謝を促すために、A-Bカーボンで、足裏、足関節、膝、膝裏、腰部、腹部、後頭部を各20分ずつ照射した。二回目からは、左右の顔面にB-Bカーボンで各40分、基本照射はB-Dカーボンで各20分照射し、週二回のペースで治療した。治療開始後、洗顔の際に、少しずつ表皮が剥がれるようになり、10回治療した頃には、色素沈着も目立たなくなり、16回の治療にて、色素沈着は、ほぼ完全に消失したため治療を終了した。

り完治となつた。
神戸市 上野 健太郎氏報告
TEL 078-333-1358

☆顔面熱傷に伴う色素沈着

症例 44歳 女性 主婦
症状 数日前、料理をしていた際、揚げ物の油が顔面に飛び跳ね、両側顔面に数か所の熱傷を負った。この際、顔面には点状の紅斑を認めたが、水疱の形成はなく、様子をみていたところ、熱傷の跡に、こげ茶色の色素沈着を認めたため、美容上の問題も含め、治療目的にて来院した。

療法経過 最初にB-Bカーボンを使用し、1号集光器を用いて、左右の顔面を、各々30分ずつ照射。その後、全身の血液循環を

改善し、新陳代謝を促すために、A-Bカーボンで、足裏、足関節、膝、膝裏、腰部、腹部、後頭部を各20分ずつ照射した。二回目からは、左右の顔面にB-Bカーボンで各40分、基本照射はB-Dカーボンで各20分照射し、週二回のペースで治療した。治療開始後、洗顔の際に、少しずつ表皮が剥がれるようになり、10回治療した頃には、色素沈着も目立たなくなり、16回の治療にて、色素沈着は、ほぼ完全に消失したため治療を終了した。

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、皆さまもご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

TEL 044-733-15067
川崎市 東京光線治療院
海渡 一二三氏報告

TEL 092-581-12039
福岡県春日市 育美健康光線療研
山崎 いく子氏報告
五七一一五七三

骨/代/謝/と/骨/粗/鬆/症/

—骨を理解するために—

サナモア光線治療院 院長 医学博士

宇都宮 正範

骨は、皮質骨と海綿骨という構造的に異なる二つの組織によって形成されています。皮質骨は、主に骨の表層を取り囲み、海綿骨は、骨の内部にあって網状の構造を呈しており、皮質骨が20%を占めています。また骨粗鬆症は、皮質骨より代謝が活発な海绵骨の方に早期に見られます。

多糖類からなり、無機成分は、ハイドロキシアパタイトの結晶からなり、最初に骨形成を担当する骨芽細胞によってコラーゲンが合成され、類骨という状態になつてから石灰化を生じます。

骨の経年変化

人の一生を通じて、骨量は様々な要因で変化しますが、加齢による影響が最も顕著に表れます。

骨の構造と成分

多糖類からなり、無機成分は、ハイドロキシアパタイトの結晶からなり、最初に骨形成を担当する骨芽細胞によってコラーゲンが合成され、類骨という状態になつてから石灰化を生じます。

骨組織の吸収と形成

骨組織は、骨の成長が完了した後も、絶えず吸収と形成を繰り返して組織を更新しており、このことを骨リモデリング（再構築）といいます。骨の吸収は主に破骨細胞が行い、骨の形成は骨芽細胞が担当します。破骨細胞は、酸と蛋白分解酵素の働きにより、骨表面を被る類骨を溶解することが仕事で、骨芽細胞は、コラーゲンを合成し類骨を形成してから、類骨の石灰化を促進し新しい骨組織を作り出します。このように、骨組織は日々、破壊と形成とを繰り返し、生まれ変わる組織なのです。

表1 骨粗鬆症の分類

<原発性>	
①閉経後骨粗鬆症	
②老人性骨粗鬆症	
③特発性骨粗鬆症	
<続発性>	
①内分泌代謝疾患	性腺機能低下症、甲状腺機能亢進症など
②栄養性	アルコール多飲、ビタミンC欠乏など
③薬剤性	グルココルチコイド、メソトレキセート、ヘパリン
④不動性	長期臥床、宇宙飛行など
⑤先天性	骨形成不全症(軽症例)
⑥その他	慢性関節リウマチなど

表2 原発性骨粗鬆症の診断基準(1996年)

<X線上椎体骨折を認める場合>	
低骨量[骨萎縮度I度以上、あるいは、骨塩量値が若年成人平均値(YAM)の80%以下]で、非外傷性椎体骨折のある症例。	
<X線上椎体骨折を認めない場合>	
脊椎X線像	骨塩量値
正常	骨萎縮なし
骨量減少	骨萎縮度I度
骨粗鬆症	骨萎縮度II度以上

* YAM : 若年成人平均値(20~44歳)

より加速度的に骨量の減少が進み、このことが、将来の骨粗鬆症の引き金となるのです。

骨粗鬆症とは

骨粗鬆症は、骨量の減少と骨微構造の破綻をきたす疾患ですが、骨粗鬆症の発症機序は、骨代謝の平衡状態が破綻し、骨吸收が優位に傾くことにより、骨量が減少することになります。

この場合、以下の二通りのけい

スが想定されます。すなわち、破骨細胞の機能亢進による過剰な骨吸収に骨形成が追いつかない場合と、骨芽細胞の機能低下により骨形成が不十分な場合のいずれかです。実際、骨粗鬆症は表1のように分類されます。原発性骨粗鬆症の大部を占める閉経後骨粗鬆症では前者が、老人性骨粗鬆症は後者があてはまります。

骨粗鬆症の診断

それでは、どのように骨粗鬆症を診断しているのでしょうか。残念ながら、骨粗鬆症の定義である骨塩量の減少、骨微構造の崩壊、骨脆弱性の亢進、易骨折の増加というすべての条件をみたす診断方法はまだありません。そこで、骨塩量を指標とした診断基準が提唱されています。これには、1994年にWHO(世界保健機構)が提案した方法が広く用いられていますが、本邦では、1996年に、日本骨代謝学会により改変された基準が提唱されています。この診断基準

(五ページからつづく)

では、X線写真による椎体骨骨折の有無と骨量の評価、および腰椎骨塩量測定による骨量の評価により診断が行われます(五ページ表2)。

骨粗鬆症の予後

骨粗鬆症の予後を考えた場合、骨折の有無が重要であり、代表的な骨折には、椎体骨圧迫骨折、大腿骨頸部骨折があります。椎体骨圧迫骨折は、外力によらず発症する場合が多く、急性期には激しい疼痛を生じる場合もありますが、多くの場合は慢性の腰背部痛、円背や胸郭の変形、身長の低下により気付かれます。また大腿骨頸部骨折は、転倒により発症することが多く、脳血管障害、老衰・痴呆に次いで頻度の高い高齢者の長期臥床の原因であるとともに、その4分の1は発症後、1年内に死亡する重篤な疾患です。たとえ、手術により、長期の臥床を免れたとしても、骨折前と同様な歩行機能、日常生活の活動度を回復することは極めて稀です。

骨を労わる

骨組織は、破壊と形成が、日々繰り返される組織であると述べてきましたが、だからこそ、骨を労わなければいけません。宇宙飛行士の骨量は、無重力状態である宇宙から帰還した後、著明に減少しています。このことから、骨量を維持するには、重力による負荷が必要であり、日常生活においては、運動により骨に荷重をかける必要があることが分かります。また、骨を

作る素材として、取り分け、カルシウムは重要ですが、カルシウムの吸収にはビタミンDの助けが必要で、そのビタミンDが皮膚で作られる過程に、日光は欠かせないので。ですから、必然的に、骨を労わり、骨粗鬆症を予防するためには、屋外で適度な運動や日光浴を行うことが必要なことが分かると思います。このように、日々の努力が少しずつ、骨を労わることを忘れないで下さい。

はつらつさんには ジョイントカーボン

サンモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサンモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてしまいました。この点を改良したのが全

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサンモアカーボンを送り安定自動的にカーボンを送り安定なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。
(本紙の無断転用を禁止します。)

〒153-0003 東京都目黒区目黒4-6-18
サンモア光線協会 TEL(03)3793-5281
取扱説明書」をご覧下さい。

サンモア 光線協会 趣意書



サンモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサンモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サンモア光線協会は、サンモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、季刊紙、「健康と光線」の発行。

医学博士 宇都宮 光明